



市制施行80周年記念

戦国群像—諏訪原寛幸イラストレーション展—

会期／9月26日(土)～10月25日(日) 場所／市民ギャラリー

☎市民ギャラリー(☎846-2950)

◆展示構成

戦国・歴史ファンに人気が高い諏訪原氏の描いた戦国武将や源平武者、三国志の武将のイラストのほか、イラストを使用した刊行物やイベントポスターを展示します。

なお、本展示は3月14日から4月8日まで開催した展示をもとに、新たな作品を加えて再構成したものです。

◆土浦を巡ろう 土浦城主の家紋スタンプラリー

会期中、下記の施設に設置された記念スタンプを3つ集めた先着3000人の方に「諏訪原寛幸オリジナルイラスト・クリアファイル」を1枚プレゼントします。

【スタンプ設置場所】

市民ギャラリー、きらら館、まちかど蔵大徳、市立博物館、上高津貝塚ふるさと歴史の広場



諏訪原寛幸

1969年茨城県出身。96年よりイラストレーターとして本格的に活動を開始。「真・三國無双」、「戦国無双」などのゲームキャラクターや、月刊「歴史街道」をはじめとする出版刊行物へのイラスト提供、「ジョージア缶コーヒー戦国時代の武将シリーズ」の作画などを手掛ける。

9月は茨城県認知症を知る月間です

☎高齢福祉課(☎826-1111 内線2500)

今後も高齢化は進展し、それにともない認知症を患う方の数も増えていくと予想されます。

認知症は、誰にでも起こりうる脳の病気です。認知症の方が安心して暮らせるよう、みんなで見守り合い、支え合う地域を目指し、認知症の正しい知識と理解を深めましょう。

認知症と高齢者虐待

全国的な傾向として、虐待を受けた高齢者の約半数には認知症状があります。認知症の程度が重くなるほど介護者の介護疲れが生じやすく、虐待に発展する可能性が高くなるためです。誰にも介護の辛さを相談できず、どう対応して良いか分からず、その結果、虐待に発展してしまう事例が多くあります。虐待をしている自覚はなくても、高齢者の尊厳、安心、安全を奪う行為は高齢者虐待です。

こんな行為は高齢者虐待です

- ・早く元気になってほしいとの思いで、妻は十分なリハビリの知識もないままに、痛がる夫に無理矢理リハビリを行いました。その結果、夫の体中にあざができてしまいました。
- ・父親には認知症があり、排泄がうまくできずにトイレを汚すことがありました。何度言ってもうまくできないので、息子は大声で父親を怒鳴りつけてしまいました。

「あれ？もしかして…」と感じたら

高齢者虐待の通報・相談件数は年々増加しています。高齢者虐待かもしれないと感じたら、下記の連絡先にご相談ください。小さな気づきが高齢者虐待の防止と早期解消につながります。

一中・三中・四中・六中地区にお住まいの方…地域包括支援センターうらら ☎824-0332

二中・五中・都和・新治地区にお住まいの方…地域包括支援センターかんだつ ☎869-7035